

聴講
無料

奥三河ビジョンフォーラム決算総会基調シンポジウム

縮減社会のまちづくり

～軽トラ市から考える、固定・可動・仮想のベストミックス～

しんしろ軽トラ市「のんほいルロット」は、今年で16年目を迎えました。『山湊馬浪』とうたわれた新城の町の賑わいを取り戻そうと始められた軽トラ市ですが、この間に被災地支援、全国の軽トラ市・大手自動車会社との連携など、数々の気づきやつながりを与えてくれました。とりわけ、「動く商店街」という新しい業態は、商圈や市場の定義を拡張しました。人口減少によって事業の存続や生活基盤の維持が困難となった中山間地域に新しい可能性を示し、様々な派生事業も生まれています。シンポジウム「縮減社会のまちづくり」では、この軽トラ市を起点に、奥三河における地域生活圏のあり方を考えてみたいと思います。

基調講演

奥三河から縮減社会の地域生活圏モデルを

- 講師 愛知大学地域政策学部教授
三遠南信地域連携研究センター長 戸田 敏行



パネルディスカッション

- コーディネータ 愛知大学地域政策学部教授
三遠南信地域連携研究センター長 戸田 敏行
- パネリスト スズキ株式会社
次世代モビリティサービス本部 次世代モビリティサービス事業部 事業企画課 課長 松本 祥弘
新城のんほいルロット ワーキングリーダー 森 一洋
愛知大学 地域政策学部 戸田ゼミナール4年 森 悠里香



2024 年 12 月 23 日(月) 18:15 新城観光ホテル 東館
愛知県新城市 桜淵公園内

18:00 一般受付
18:15 シンポジウム
20:00 情報交換会 (20:45 終了予定)

【オンライン】 Zoom 会議室
ミーティング ID: 661 949 9787
PASS : wsocsd567



一般社団法人奥三河ビジョンフォーラム

TEL 0536-23-2554

FAX 0536-24-1300

〒441-1326 愛知県新城市中野 15-10 新城市商工会館 2F

<https://www.okumikawa-vf.com/>

e-mail: ovf@tcp-ip.or.jp



【講師近著】

人口減少が一段と激しさを感じさせるようになって、余程の大都市を除いて固定の店舗の維持が困難になっています。いわゆるシャッター通りですね。一方で、デジタル化の進展が著しく、ネット購買やバーチャル店舗が一般化しつつあります。しかし、バーチャル（仮想）だけが進んでいくとすると、地域の生活空間は残っていくのでしょうか。そこで、これまでの固定のまち、仮想のまちと共に、空間が動くという可動のまちを加えて、固定・可動・仮想の地域のベストミックスを考えていくのが、これからのまちづくりや地域づくりに有効だと考えています。こうした思いが引き出されたのは、軽トラ市との出会いで、軽トラ市は動く商店街、可動商店街と感じてきたからです。もちろん商店街は、ただ物を売っているだけではありません。まちに活気をつくり、人と人をつないでいくものです。一見火が消えたようにみえるまち、そのまちが活きる可動商店街、それが軽トラ市です。

（2024 年 4 月 1 日発行：愛知大学三遠南信地域連携研究センター監修、戸田敏行編著、内山志保・鈴木伴季著「軽トラ市 まちが活きる可動商店街」より）



※当日会場にて販売

2024/12/23 シンポジウム 縮減社会のまちづくり

FAX：0536-24-1300

申込ウェブフォーム

<https://forms.office.com/r/651nqJJnPJ>



参加者	氏名	①会場参加 (60 名)	②オン ライン参加	備考
所 属 等				
T E L				
e - m a i l				
事務局使用欄				

会場設営の都合上、事前申し込みにご協力ください。